

出雲市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況 (令和5年度実績)

【圏域の人口目標】

区 分	平成27年(2015) 〔基準値〕	令和7年(2025) 〔目標・推計値〕	令和22年(2040) 〔目標・推計値〕
人 口 (国勢調査)	171,938人	170,000人	166,000人

※令和7年(2025)及び令和22年の目標値は、出雲市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」の推計結果に基づいています。

【重要業績評価指標(KPI)の実績】

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標(KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2～R6

(1) 生活機能の強化に係る取組

イ 福祉

(ウ) 子育て支援体制の充実

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
子育て支援センター利用者数	66,090人	44,956人	↘	54,000人
ファミリーサポートセンター利用者数	6,142人	6,453人	↗	6,270人
4月1日時点の認可保育所・認定こども園・小規模保育事業施設の待機児童数	3人	0人	↗	0人

【進捗状況】

子育て支援センター利用者数は、少子化の影響に加え親の復職に伴い保育所・保育園へ入所する子どもたちが増えたため、利用者数が減少したと考えます。
ファミリーサポートセンター利用者数は、新型コロナが5類に移行し、利用者数は増加しています。子育てを手伝う援助会員の確保が難しい状況ですが、利用者とのマッチングに努めています。

【今後の取組】

子育て支援センターの利用については、事業周知をより積極的に行うとともに、利用しやすい施設環境の整備に努め、利用者数の増を図ります。
ファミリーサポートセンター事業の援助会員の不足を解消するため、募集の周知を強化します。

ウ 教育

(ア) 不登校に対する支援体制の充実・強化

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
不登校児童の割合	2.08%	5.01%	↘	1.98%

【進捗状況】

不登校児童生徒の割合については、全国的に増加傾向にあり、出雲市においても年々割合は増加傾向です。不登校支援に係る人的配置として、スクールカウンセラーを全校に配置するなど対策を講じていますが、不登校の要因については、個々の状況により様々であり、特定することは難しい状況です。

【今後の取組】

不登校対策の方向性を示した「出雲市不登校対策指針」を策定し、不登校相談員の配置や教育支援センターによる支援に加え、オンラインでの相談やタブレット端末を活用した学習支援を行っています。今後も個々の不登校児童生徒の状況に応じきめ細かく対策に取り組んでいきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間＝R2～R6
(1) 生活機能の強化に係る取組				
ウ 教育				
(エ) 芸術文化の振興				
	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
出雲総合芸術文化祭事業鑑賞者数	11,360人	7,064人	↘	10,000人
【進捗状況】 令和5年度は新型コロナが5類に移行しましたが、当該事業を活用したイベントが少なく、鑑賞者も減少しました。				
【今後の取組】 イベント数を増やすとともに、開催されたイベントの事業の評価・検証等を常に行い、参加者(観覧者)が参加(観覧)しやすく、また、参加(観覧)したくなるような魅力あるイベントになるよう改善に努めます。				
(オ) 高等教育機関との連携				
	令和元年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
市内大学・専門学校在学生数	1,825人	1,911人	↗	2,000人
	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
島根大学、島根県立大学及び市内専門学校との連携事業数	114件	118件	↗	130件
【進捗状況】 地元大学・専門学校の魅力化支援等については、市民向けの公開講座や地域活動に在学生が参加し、進学を考える高校生やその保護者に各学校の魅力発信を行っています。連携事業数も増え、学生数も増加しています。				
【今後の取組】 今後も各学校と連携し、各学校の持つ豊富な人材、専門的知識や技術の提供を受け、地域課題(ニーズ)と大学のシーズをマッチングさせて課題解決に取り組んでいきます。				
エ 産業振興				
(ア) 企業誘致				
	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
製造業・ソフト産業の立地計画認定件数	33件 (H26～H30の累計)	27件 (R2～R5の累計)	↗	30件 (R2～R6の累計)
【進捗状況】 昨年に引き続き、誘致企業へのフォローアップ訪問を行い、企業立地優遇制度を活用する立地済み企業の増設及び首都圏からの新規立地を積極的に働きかけています。また、IT企業の進出については、進出する企業の事業活動等に係る経費と従業員の居住に係る経費の一部を助成する「出雲市IT企業拠点開設トライアル助成金」を新設し、出雲市への進出を後押ししています。				
【今後の取組】 引き続き島根県とともに、誘致企業へのフォローアップ訪問を実施し、立地済み企業の増設を働きかけます。また、(株)People Cloudとともに首都圏企業に対し、Izumonomadへの新規立地を含め積極的に働きかけ、市外企業の誘致と雇用の場の確保を進めていきます。				

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間＝R2～R6

(1) 生活機能の強化に係る取組

エ 産業振興

(エ) 観光振興

	平成30年	令和5年度	進捗状況	令和6年
観光入込客数	1,162万人	1,209万人	↗	1,200万人
宿泊者数	74.7万人泊	84万人泊	↗	100万人泊
外国人宿泊客数	7,875人泊	1,581人泊	↗	20,000人泊

【進捗状況】

新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、観光需要が高まる中、周遊滞在・消費環境の整備や誘客情報の発信等に取り組み、滞在型観光の充実とインバウンドの推進に取り組んでいます。

【今後の取組】

GoogleMaps上の施設情報を充実させることやInstagram「Izumo365」を開設することなど、誘客情報の更なる効果的な発信等観光誘客や、宿泊につながる効果的な事業について積極的に取り組みます。
インバウンドについては、今後は令和5年度に造成した関西・山陽からのモデルコースや観光素材集、制作した動画を活用し、宿泊客数の増に向けて引き続き取り組んでいきます。

(オ) 農林水産業の振興

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
認定新規就農者数	4.8人	4人	↘	対前年比7人増
集約した施業団地数	—	1団地 (R2～R5累計)	↗	5件 (R2～R6の累計)

【進捗状況】

継続的な新規就農者の確保に向け、オンライン産地ツアーや就農相談フェアなどを開催し、4名の認定新規就農者がありましたが、他産業の雇用条件の改善などが影響し、都市部からの就農相談が減少しました。

【今後の取組】

就農イベントに積極的に参加するとともに、就農に関するウェブページ改修を行うなど、出雲での就農について広報の仕方を工夫していきます。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

イ デジタル・デバイドの解消に向けたICTインフラ整備

(イ) 防災ネットワークの構築

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
防災行政無線戸別受信機及びいずも防災メールの加入・登録者(世帯)数	17,664人・世帯	35,730人・世帯	↗	48,000人・世帯

【進捗状況】

防災行政無線戸別受信機、いずも防災メールの加入・登録促進については、広報紙、ホームページ、出前講座等で防災行政無線個別受信機やいずも防災メールの加入勧奨を行った結果、市民の防災意識が向上し加入数を伸ばしています。

【今後の取組】

昨今大規模災害が頻発しているため、今後も様々な機会を通して、幅広い年齢層への周知に努めていきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間＝R2～R6

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

ウ 道路等の交通インフラ整備

(ア) 高速道路等の整備促進

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
山陰自動車道「出雲・湖陵道路」進捗率	69%	85%	↗	100%
山陰自動車道「湖陵・多伎道路」進捗率	48%	85%	↗	100%

【進捗状況】

両道路の開通予定時期である令和6年度に向け、国において順調に事業推進が図られました。

【今後の取組】

引き続き出雲・湖陵道路と湖陵・多伎道路の事業促進に努めます。

エ 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

(ア) 農水商工連携による地産地消の推進

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
学校給食地産地消率	60.0%	69.2%	↗	75.0%
「出雲推奨商品－おいしい出雲－」認定数	162商品	108商品	↘	180商品

【進捗状況】

地産地消の推進については、毎月、「学校給食マッチング会議」を開催し、食材(野菜、果物)に関する情報交換を行い、積極的に献立に取り入れてます。

「おいしい出雲」においても、県内外の小売店での販売やSNSポータルサイトによる情報発信やフォトキャンペーンを実施し、商品PR・販売促進に繋げました。

【今後の取組】

引き続き納入業者等の協力を得るとともに、「学校給食マッチング会議」を開催し、関係機関から得た情報を献立に反映させ、地元産食材の積極的な使用に取り組めます。また、「おいしい出雲の一日」を設定し、地元産食材を積極的に使用します。

「おいしい出雲」については、認定のメリットを積極的に発信するとともに、販売促進・販売意欲の向上を促進するよう取り組みます。

オ 地域内外の住民との交流・移住促進

(ア) 定住施策の充実

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
UIターン就職支援窓口相談者数 (年間延べ人数)	444人	332人	↘	500人
UIターン支援助成事業による女性のUI ターン者数	49人 (H27～H30年度累計)	73人 (R2～R5年度累計)	↗	50人 (R2～R6の累計)
移住促進住まいづくり助成事業による助 成件数	－	43人	↗	10件／年
新婚・子育て世帯UIターン支援(いずれも で新生活応援事業)による助成件数	－	4件	↘	35件／年

【進捗状況】

就職支援では、UIターン希望者等を対象に、就職相談、職業紹介などを実施しました。

「女性のUIターン支援」「移住促進住まいづくり助成」「新婚・子育て世帯UIターン支援助成」各種移住助成については、ニーズに応じて助成対象を拡大するなど、移住希望者が利用しやすい制度になるよう取り組みました。

【今後の取組】

出雲市の魅力をPRし、移住・定住につなげていくのが重要なポイントと考えています。そのため、ホームページへの情報掲載や対象事業所への広報、対面・オンラインによる移住相談会やフェアなどの機会をとらえて、情報発信に努めていきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間＝R2～R6

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

オ 地域内外の住民との交流・移住促進

(イ) 空き家の利活用

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
空き家バンク登録物件数	110件 (H26～H30年度累計)	126件 (R2～R5の累計)	↗	150件 (R2～R6の累計)

【進捗状況】

令和4年度からスタートした「空き家安心サポート委託事業」など、民間団体との連携を強化し、積極的に周知啓発、登録支援を行った結果、順調に推移しています。

【今後の取組】

引き続き民間団体と連携し登録件数の増加に向けて、啓発活動を行います。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

ア 宣言中心市等における人材の育成

(ア) 市民協働の推進

	令和元年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
市民協働事業の補助対象事業採択数	5件	12件	↗	6件／年
	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
コミュニティセンター利用者数	809,175人	663,569人	↘	810,000人

【進捗状況】

市民協働の推進については、補助金財源が拡充されたため、多くの事業を対象とすることができるようになり、目標を大幅に超える実績となりました。

コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、新型コロナの影響から地域活動がコロナ禍前の状況に戻っていないことに加え、利用者の高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少している状況です。

【今後の取組】

市民協働事業の補助事業について、今後も制度を広く広報するとともに、市内NPO法人に申請に向けて働きかけを行う予定です。

コミュニティセンターの利用については、積極的に地域事業の再開を促し、コロナ禍前の利用状況に回復できるよう努めていきます。

(イ) 生涯学習の推進

	平成30年度	令和5年度	進捗状況	令和6年度
コミュニティセンター利用者数	809,175人	663,569人	↘	810,000人

【進捗状況】

コミュニティセンターを活用した地域事業の促進については、新型コロナの影響から地域活動がコロナ禍前の状況に戻っていないことに加え、利用者の高齢化の進展等により既存グループ等の活動も減少している状況です。

【今後の取組】

今後は、積極的に地域事業の再開を促し、コロナ禍前の利用状況に回復できるよう努めていきます。

具体的取組				
政策分野				
施策				
重要業績評価指標 (KPI)	設定時現状値	現状値	進捗状況	目標値 ※5年間=R2～R6

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

イ その他

(ア) その他

	平成30年	令和5年度	進捗状況	令和6年
中海・宍道湖・大山圏域市長会等で実施するビジネスマッチング商談件数	651件	438件	↘	3,400件 (R2～R6の累計)
中海・宍道湖・大山圏域での外国人観光客宿泊数	14万6千人泊	数値未確定		45万人泊
中海・宍道湖・大山圏域での国内観光客宿泊数	408万人泊	数値未確定		430万人泊
中海・宍道湖・大山圏域内への移住者数	3,543人	数値未確定		3,000人／年の維持

【進捗状況】

ビジネスマッチングの商談件数は、参加する企業が減少したことで商談件数も減り、目標を下回りました。本ビジネスマッチングは山陰最大規模の商談会に位置付けられており、事業効果も高いと考えられるため、随時、企業ニーズ等を柔軟に反映させながら、事業継続していきます。

【今後の取組】

今後は国内外の観光需要に対応し受入環境の整備等準備を整えるとともに、効果的に国内に向けた情報発信を実施することにより、圏域周遊促進及び旅行消費拡大の取組を強化していく必要があります。